

福島医大医学部泌尿器科学講座

来月21日、50周年行事

福島医大医学部泌尿器科学講座は開講五十周年を迎え、七月二十一日に福島市のホテル辰巳屋で祝賀記念行事を催す。

県内外から関係者約百七十人が出席する。弘前大学院医学研究科・泌尿器科学講座の大山力教授、神戸大学院医学研究科・腎臓長が同大の取り組みな

泌尿器科学分野の藤沢正人教授が泌尿器科医療の歴史や現状について講演する。福島医大の竹之下誠一理事長兼学

どを紹介する。泌尿器科学講座は一九六八(昭和四十三)年に開講した。

小島教授と伊達会長来社開催あいさつ

福島医大医学部泌尿器科学講座の小島祥敬教授、泌尿器科学講座同門会の伊達智徳会長

結束強め若手育成へ

福島医大医学部泌尿器科学講座の小島祥敬教授(四七)に講座の特色や県内の泌尿器科医療の現状を聞いた。

「泌尿器科はどんな診療科なのか。」「梅毒など性感染症を起源とする西洋発祥の医学分野だ。戦後になると平均寿命の延びや医療技

術の進歩に伴い、結核やがんなど扱う病の領域が増えた。前立腺・腎臓・膀胱などのがんをはじめ、前立腺肥大症や排尿の障害、男性不妊症なども扱う。診療対象が幅広い診療科だ」

「泌尿器科講座の現状や特徴をうかがう。」「講座では最新手術支援ロボット『ダ・ヴィンチSi』を東日本で初めて導入し、前立腺がん患者の負担が少ない手術に取り組んでいる。手術件数は年々増えており、広



泌尿器科医療の現状などを語る小島教授

「東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から七年余りが過ぎたが、県内では泌尿器科医が不足している。記念行事を援口ポット『ダ・ヴィンチSi』を東日本で初めて導入し、前立腺がん患者の負担が少ない手術に取り組んでいる。手術件数は年々増えており、広

抱負を語る小島教授(右)と伊達会長

高橋雅行社長と懇談した。小島教授は「学生や県民の皆さんに泌尿器科医療に関心を持ってもらう機会にしたい」と伊達会長は「今後も県内の医療機関が連携し、質の高い医療を提供したい」と語った。



東日本大震災と東京電 松市の会津樟 池上彰さん特別講師

県産酒の品質PR

大和川酒造店(喜多方)

米でレストランショー

佐藤和典社長が会場

報社に伝え

米でレストランショー。日本からは酒造会社約三十社、食品会社三十社以上が参加した。大和川酒造店は弥右衛門純米吟醸、純米に「酒」月あかりを出品した。月あかりはフルーティな香りと飲んだ後の爽やかさやすっきり感

が好評だった。佐藤和典社長が会場

福島伝える写真、メッセージ

外国出身県民対象に

国際交流協 30周年事業

県国際交流協会は創立三十周年事業とし

て、県内出身県民を対象に島の現状を



自社商品や県産酒の品質の高さをPRした佐藤社長(右)とワペンさん(左)米国・バーリンゲル